

第1回本庄市中学生まちづくり議会を開催

中学生の視点で鋭く市長に質問

1月30日、市立4中学校の生徒30人が参加して、「中学生まちづくり議会」が開催されました。これは、次代を担う中学生に市議会議場を開放し、中学生議員として市の執行部と直接ふれあいながら、本庄市のまちづくりに対する考え方の発表や提案を行うとともに、市政への関心と理解を深め、あわせて行政への市民参加意識の高揚を図ることを目的としたものです。質問は合併問題やいじめ問題など12件が出されました。ここでは、その質問と回答の一部を紹介します。



本庄東中
神宮 優弥 議長



本庄西中
朝比奈由衣 副議長



中学生議員の質問に
答弁する吉田市長

問市立図書館では、専門書や高価な本を中心に充実させてほしいと思います。
答より多くのみなさんが望まれる図書を幅広く購入せざるを得ないのが現状で、専門書高価な本へは、なかなか手が届かないのが現実です。しかし、将来に向けて、ご質問の趣旨を生かし図書館の充実を図っていくとともに、ほかの図書館とタイアップして、必要とされる図書の提供に努力しますので、ぜひリクエストしてほしいと思います。



本庄東中
遠藤 彰人 議員

《まちづくり議会議員名簿》

本庄東中	本庄西中	本庄南中	児玉中
神宮 優弥	朝比奈由衣	織田澤 篤	橋本 隆弘
中澤 悟	柴原 花	野口 真紀	伊藤 優
遠藤 彰人	鈴木 千絵	林 実季	福田 健二
細川 夏輝	橋本 康太	三宅 歩	島田 拓史
中嶋 一輝	園部 将汰	齊藤 奈穂	大坂 美月
小林咲里奈	飯塚 亮介	田島 将太	濱田 美紀
白鳥衣里子		矢澤 結	木口 凌
斉藤 早紀		田端 広野	下野戸遥香

問2学期制導入で、学力向上等の成果は上がっているでしょうか。また、小学校を2学期制にする予定はありますか。
答2学期制の導入により、始業式と終業式と定期テストがそれぞれ1回ずつなくなり、それらの日に授業が実施できるようにになりました。
これにより、テスト前には学習会など補習の時間を取り、学習内容のより確実な定着を図っている学校も出ています。また、評価についても学習に取り込む過程を評価するなど、一人ひとりを見つめた評価ができるようになりました。
今後、市内の小学校へ2学期制が取り入れられる予定があるかという質問ですが、現在のところ考えておりません。



本庄西中
橋本 康太 議員

みなさんのような多感で好奇心旺盛な時に、図書館を利用して、図書館でしか味わえない、思いもかけない情報を見つけた時の、ワクワクする楽しさや素晴らしい体験してほしいと思います。



本庄南中
織田 篤 議員

問暑さ対策として、教室にクーラーを設置する計画はありますか。空き教室活用として少人数学級を実施できないでしょうか。

答市の公立小中学校は、17校で252学級。クーラーを設置した場合、費用は約6億3千万円となる見込みになります。さらに、変電設備の改修も必要となりますので、現在では難しい状況と思われます。少ない人数での授業は、生徒にとって集中でき、しかも一人ひとりが先生から丁寧に教えてもらえるという利点があります。



市教育委員会としては、これまで行ってきた少人数指導やティームティーチングの成果を見極め、少人数学級の長所を認識し、空き教室の活用を図っていききたいと考えています。



児玉中
橋本 隆弘 議員

問合併して良かった点、悪かった点がありますか。上里町と合併しなかった理由はなんですか。

答合併して一年が経過しましたが、みなさんも身近なところで、合併のことを実感していると思います。合併の効果は、これからまちづくりの中でいろいろなる事業となって現れてきます。

合併特例債という財政的援助を利用して、新年度からは児玉中学校の建替事業を進めていきます。また、防災行政無線の整備や、本庄早稲田駅周辺で実施している区画整理事業を進めていきます。このように、合併したことにより、今までできなかった事業が進み、悪かった点は、特にないものと思っています。

合併は結婚と同じに例えられ、片方が望んでもなかなかうまくいくものではありません。両方の市民、町民の意見がまとまらないと、手続きを進める訳にはいきません。上里町との合併は実現をみていませんが、児玉郡市の発展を見据えた時に、上里町だけに限らず、美里町や神川町なども含めた合併は避けては通れないものと考えています。



本庄東中
中澤 悟 議員

問市では、いじめ問題に対して、具体的にどのような取り組みをしていますか。

答教育委員会では、現在『いじめをしない子ども育成』と『心に悩みや苦しみを持つ子どもの救済』について取り組んでいます。

基本的には学校と家庭が協力して相手への思い、他人の痛みに気づける子どもたちを育てていくことが大原則であると考えています。『いじめはどここの学校でも起こりうることであり、いじめを解決するのがよい学校である。』との認識に立ち、こ

れからもいじめ撲滅に向け、取り組んでいきたいと考えていますので、みなさんの協力をお願いします。



本庄西中
鈴木 千絵 議員

問市では、自然環境保護や緑化計画などの取り組みはどのような形で行っていますか。

答自然環境保護の取り組みについては、きれいな水や豊かな緑などの環境を守り育ていくために「本庄市環境基本条例」を制定。また、環境を守るための計画や実践方法を定めた「基本計画」を策定し、この計画を基に取り組んでいます。自然環境を守るためには、行政だけではなく、市民のみなさんも一緒に行動していくことが必要です。快適で住み良いまちづくりのために、みなさんも環境問題に関心をもつていくようお願いいたします。

緑化計画の取り組みについて市では、「市民とともに、緑を守り、創り、育む」ことを目指す「緑の基本計画」を、合併前の平成15年3月に策定しています。これからは人の輪、地域をもつて自然環境や

生態系に十分配慮し、調和のとれた安全で快適な生活環境の形成が図れるよう計画を進めていきたいと考えています。



本庄南中
野口 真紀 議員

問中学生のためにどのくらい税金が使われていますか。本市にも税金の未納者はいますか。

答一般会計に教育費という分類があり、中学校の管理などの予算が計上されています。さらに、中学校を建設したときの借入金の返済を加えると、平成18年度の中学生のための予算額は約5億7千万円で、このうち、約2億6千万円の市税が使われる予定です。平成15年文部科学省の調査では、中学生1人に使われる教育費として年間93万8千円もの税金が充てられています。

税金の未納者は残念ながらゼロではありません。納付がない場合は、督促状を送付し、電話連絡や直接未納者宅に伺っています。悪質な未納者については、土地・預金などを差し押えて、税金を払っていただくこともあります。